

平成26年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

事業名	地域でやりたいことを実現する 地域の居場所づくり事業
団体名	NPO 法人 Mystyle@こだいら
担当課名	市民協働

① 目的の共有（事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めたか）

団体自己評価 : 十分達成できた	担当課自己評価 : 十分達成できた
<ul style="list-style-type: none"> ・当初から居場所づくりの具体的な方法や手法を意識しながら事業を進められた。 ・フォーラム・講座ともに「具体的な」手法を市民に提示できた。 	

② 自主・自立の尊重（双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めたか）

団体自己評価 : 十分達成できた	担当課自己評価 : 十分達成できた
<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに相手を頼りすぎず役割を明確にすることにより、それぞれの仕事に責任感を持って事業を行うことができた。 	

③ 相互理解（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、柔軟な対応が図られたか）

団体自己評価 : 達成できた	担当課自己評価 : 達成できた
<ul style="list-style-type: none"> ・意見を交換し合う機会が多く、細かい部分について随時修正を加えることができた。 	

④ 対等関係（互いの事業活動における対等な立場を踏まえ、事業を進める様々な場面において、適切な協議、意見交換等の機会を設け一方的に決めることなく十分に話し合ったか）

団体自己評価 : 達成できた	担当課自己評価 : 達成できた
<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの専門分野を理解し、双方の意見を尊重することに気がつけた。 ・双方の意見を尊重することにより、対等な関係を築くことができた。 	

⑤ 情報の共有（相手方と十分な情報の共有ができたか）

団体自己評価 : 十分達成できた	担当課自己評価 : 十分達成できた
<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に連絡を取ったわけではなかったが、必要な書類や手続き等をあらかじめ明らかにしておくことにより、必要な時に必要な情報をお互い取得できた。 ・昨年度の反省を活かし、情報交換の機会自体を増やすことにも留意した。 	

⑥役割分担と責任の明確化（事業実施にあたって役割分担が明確に定められていたか）

団体自己評価：十分達成できた	担当課自己評価：十分達成できた
<p>・昨年度に引き続き行った事業ということもあり、お互いの仕事について理解があったため役割分担と責任の明確化はスムーズに行えた。</p>	

⑦協働事業の相乗効果（市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができたか）

団体自己評価：達成できた	担当課自己評価：達成できた
<p>・団体の考え方やネットワークを活かしながら要所で市がノウハウ等のアドバイスを行うことにより、単独で行う事業よりも対象が広がり、また、事業内容も幅が広がった。</p>	

⑧目標の達成（事業の目的が達成できたか）

団体自己評価：十分達成できた	担当課自己評価：十分達成できた
<p>・フォーラムと講座のアンケートからもわかるとおり、その場で完結せず身につけた手法を用いて何らかのアクションを起こす市民が多く、「居場所」を「つくる」ための手法を提示する事業として目標は十分に達成できた。</p>	

⑨地域の課題解決（事業を通じて地域の課題解決につながったか）

団体自己評価：達成できた	担当課自己評価：達成できた
<p>・居場所づくりの手法は提示できたが、実際に「居場所」をつくるためには身につけた手法をこれからどの様に活かしていくかが問題となる。この事業で提示した手法が実際に活かされたかどうか、今後確認する必要がある。</p>	

⑩その他意見（提案団体から）

<p>・特になし</p>

※自己評価項目

1	十分達成できた
2	達成できた
3	概ね達成できた
4	目標を下回った
5	達成できなかった